

令和5年度

千代田区教育会理科部 研究経過

【研究主題】

問題解決能力を育成する授業づくり ～問題を見いだす場面に焦点を当てて～

千代田区小学校理科部会では、毎年子どもたちの「問題解決能力」の育成を目指して研究を進めてきた。令和4年度には、「明確な根拠」を「理科の見方・考え方を働かせながら、生活経験や既習事項と関連付けて考えたこと」と捉え、1年間の研究の成果を千代田区の先生方に伝えることができた。このように、千代田区の研究は「理科指導法の研究」と「千代田区の先生方への研究発表」の2つの大きな柱で成り立っている。

今年度は、研究主題を「問題解決能力を育成する授業づくり～問題を見いだす場面に焦点を当てて～」とした。設定の主な理由は以下のとおりである。

- ・今までの研究経過を踏まえ、近年研究していない「問題設定」の場面とした。
- ・「探究のサイクル」を回すには、何よりも「問題を見いだす」力が必要であると考えた。
- ・理科の授業において、「問題設定」が教師主導、または問題提示になっている授業が散見される。

今年度も、12月に千代田区の先生方への研究発表が控えている。その時に、理科を専門としない先生方に少しでも役に立つ授業展開を提案できるように、研究を深めていく。

<研究経過・予定>

○授業研究

- ・千代田区立富士見小学校 川崎麻実 主任教諭
- ・千代田区立麴町小学校 鈴木陽介 主任教諭
- ・千代田区立千代田小学校 山口真一 主任教諭

○年間講師

大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 石井雅幸 先生

文責 千代田区立九段小学校 指導教諭 岩崎泰久